

Elazzio

SEAT COVER



SUZUKI
XBEE

専用シートカバー取付説明書

6070 / 6071 / 6072



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

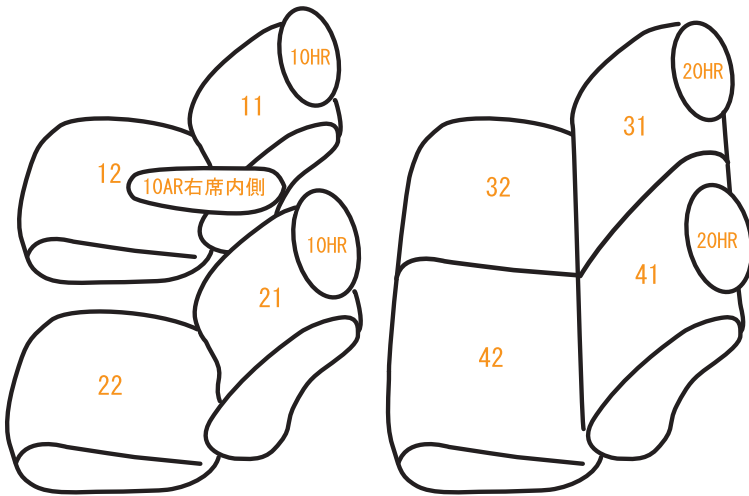
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P～7P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 8P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 9P～11P
2 列目助手席側座面の装着方法	…> 12P～15P
2 列目助手席側背もたれの装着方法	…> 16P～18P
ヘッドレストの装着方法	…> 19P～20P
アームレストの装着方法	…> 21P
完成図	…> 22P
ひもの固定方法	…> 23P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 24P～25P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (12mm)、バックテーブル装備車は10mmも必要
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



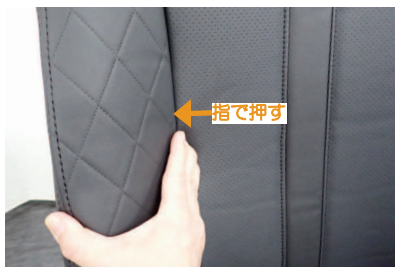
- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1** 始めに、シートを一番高い所まで上げて下さい。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で行ってください。



- 2** カバーをシートの前側からかぶせます。



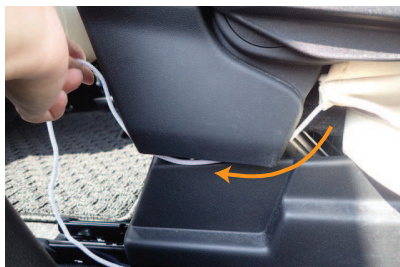
- 5** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 3** カバーをシート全体にかぶせます。



- 6** シートとシートリフターレバーの隙間に生地を入れ込みます。



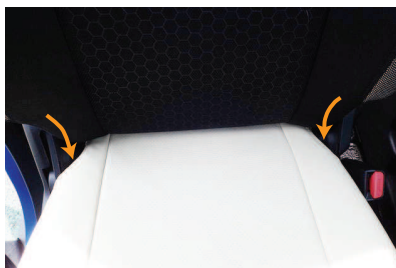
- 7** カバー外側面から出ているひもを、プラスチックカバーの内側から背面側に通します。



- 10** カバー内側面の生地をプラスチックカバーの隙間に入れ込み、生地裏に付いているマジックテープを純正表皮に直接貼り付けて固定します。



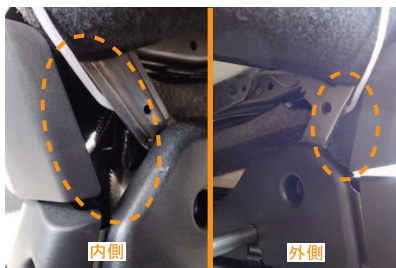
- 8** カバー外側面の生地をプラスチックカバーの隙間に入れ込み、生地裏に付いているマジックテープを純正表皮に直接貼り付けて固定します。
※マジックテープに保護テープが付いている場合は剥がして下さい。



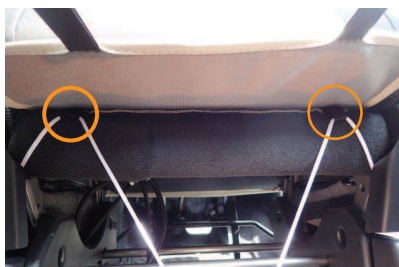
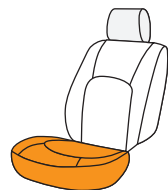
- 11** カバーの根本の生地を隙間に入れ込みます。



- 9** カバー内側面から出ているひもを、プラスチックカバーの内側から背面側に通します。



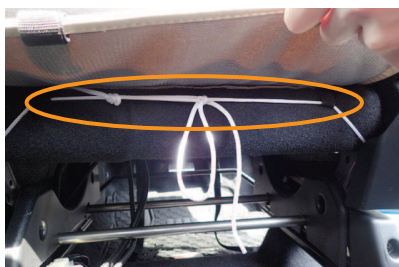
- 12** 7番と9番で背面側に通したベルトは、シート裏の後ろ側にある図の隙間から引き出して下さい。



- 13** 6ページ12番で引き出したひもを、5ページ5番で引き出した生地裏側にあるベルトに通します。ベルトは、生地根本の縫い目に付いています。



- 16** 通したベルトと、5ページ5番で引き出した生地についているバックルを固定します。ベルトの固定方法は17番を参照して下さい。



- 14** ひもを結び固定します。ひもの固定方法は22ページを参照して下さい。



- 17** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引き事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 15** カバー前側に付いているベルトを、スライドレバーや配線に干渉しないように、シート裏から背面へ通します。



- 18** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。

Step 2

1 列目助手席座面の装着方法



- 1** カバー背面側の加工穴から、シート開閉用のストラップを取り出します。



- 4** カバーをシート全体にかぶせます。



- 2** カバー背面側の生地裏に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



- 5** カバー両側面から出ているひもと、前後に付いているベルトをシート裏で固定します。ひもの固定方法は23ページ、ベルトの固定方法は7ページ**17番**を参照して下さい。



- 3** **2番**で貼り付けたマジックテープを起点に後ろ側から前側へカバーをかぶせます。



- 6** カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

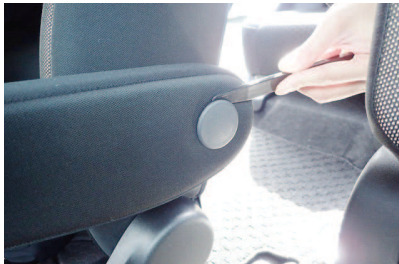
Step 3

1 列目運転席背もたれの装着方法



注意

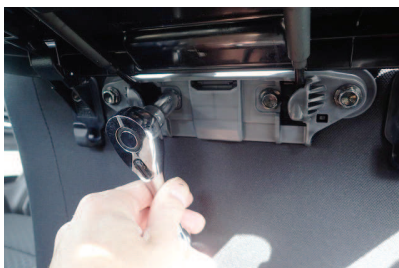
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1** ヘラ等を使用し、アームレスト側面のキャップを外します。



- 2** ソケットレンチ（12mm）を使用し、アームレストを外します。



- 3** バックテーブル装備車は、ソケットレンチ（10mm）を使用してテーブルを取り外します。
テーブルは6本のボルトで固定されています。
※2025年10月2日発売開始のモデルチェンジ後の車両では、固定ボルトは4本になります。対象品番：E S-6072



- 4** ファスナーを開け、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



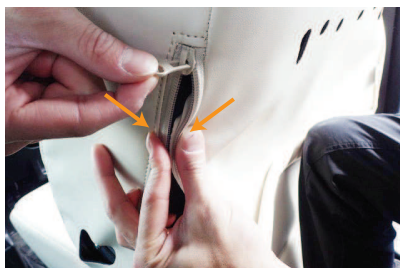
- 6** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



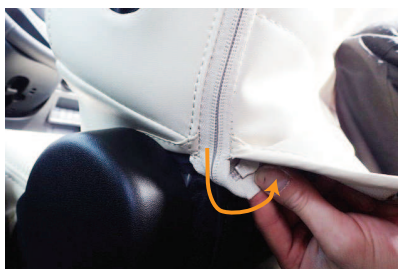
- 7** カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。
 本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないようにご注意ください。



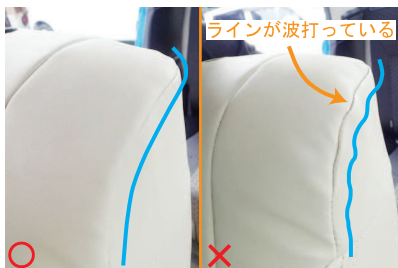
- 8** カバーをシートに馴染ませます。
 図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を9ページ6番と同様に背面から引き出します。



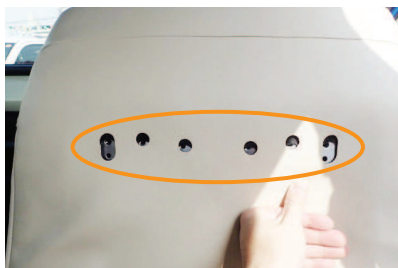
- 9** カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら閉めます。
 ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 10** ファスナーの端を、カバーの内側に入れ込みます。



- 11** カバー肩口の裏側の縫い代（生地を縫い合わせて余っている部分）を整える事で、ラインが綺麗になります。
 図の左側が整えた後、右側が整える前になります。



- 12** バックテーブル装備車はカバーの穴位置がシートの穴と合っている事を確認して下さい。穴位置がずれている場合は、穴位置が合うように、カバーを馴染ませ直して下さい。
 ※こちらは、2025年10月1日以前のモデルになります。2025年10月2日以降のモデルは、穴が4か所になります。

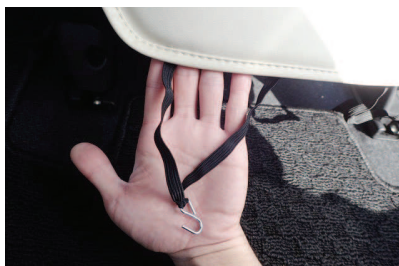


- 13** カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープと、9ページ6番で引き出した生地についているマジックテープを固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 14** カバー背面下部の生地についているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 15** 金属フックを取り付けたゴムを座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。引っ掛ける場所に決まりはございません。程よくテンションがかかる場所に固定して下さい。



- 16** バックテーブル装備車は、テーブルを元に戻します。こちらは、2025年10月1日以前のモデルになります。対象品番：ES-6070



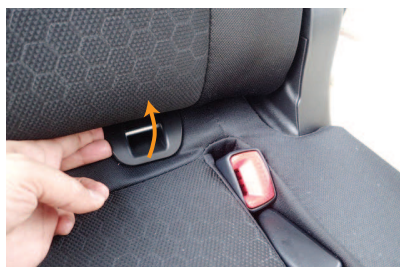
- 17** こちらは、2025年10月2日以降に発売開始されたモデルの、バックテーブルを元に戻した図になります。対象品番：ES-6072



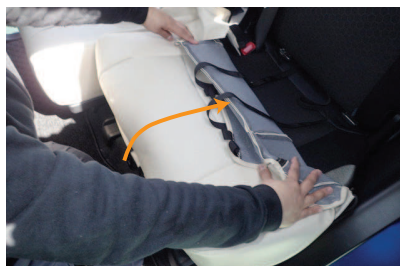
- 18** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。一部形状は異なりますが、助手席も同様に取り付けます。

Step 4

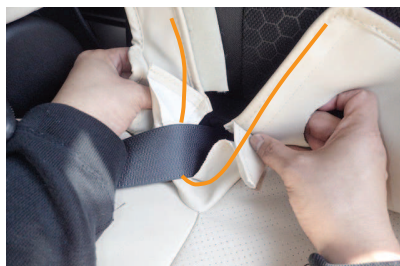
2列目助手席側座面の装着方法



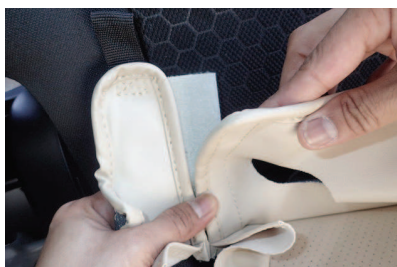
- 1** 2列目は助手席側で説明します。
始めに、チャイルドシート固定用フックに付いている、プラスチックカバーを外します（計2箇所）。プラスチックカバーの内側にある溝にそってプラスチックカバーを引き上げて外して下さい。



- 2** シートの前側からカバーをかぶせます。
※ここから先は、作業が行いやすい位置にシートをスライドさせながら作業を行って下さい。



- 3** カバー根本のマジックテープを外し、分かれ目にシートベルトを通します。



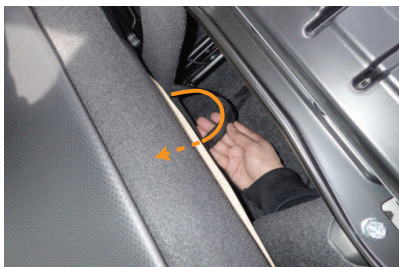
- 4** シートベルトを通した後に、マジックテープを貼り付け固定します。



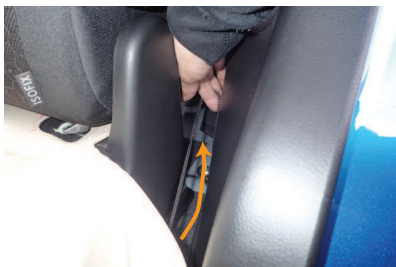
- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** 入れ込んだ生地を、背面のバックボードを上へ上げ、隙間から引き出します。
隙間は大変狭くなっているの、ご注意ください。



- 7** 12ページ6番で引き出した生地に付いているベルトをシートの裏側に通します。



- 10** カバー外側面から出ているひもを背面側へ通します。



- 8** 通したベルトをシートの前側から引き出します。



- 11** カバー内側面から出ているひもを背面側へ通します。



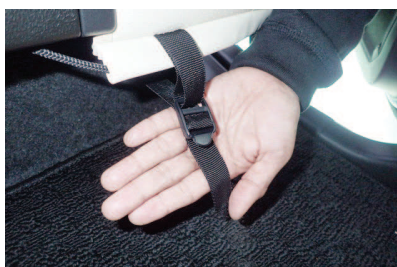
- 9** シート前側にあるスライドレバーの隙間にヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。



- 12** ひもはシートレールに干渉しないようにして下さい。



- 13** 13ページ10番と11番で背面に通したひもを、シート背面側のボードを上げた箇所にあるバーの上を通します。



- 16** 13ページ8番で引き出したベルトと、カバー前側に付いているバックルを固定します。固定方法は7ページ17番を参照して下さい。



- 14** ひもを結び固定します。ひもの固定方法は23ページを参照して下さい。



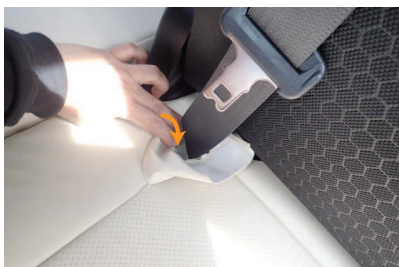
- 17** シートの軸部の隙間に生地を入れ込みます。



- 15** シートの底面にひもの通っている生地がきている事を確認して下さい。底面に生地が巻き込まれていない場合は、生地を底面に巻き込み、ひもを再度固定し直します。



- 18** カバー外側面の生地を、折り返すようにしてシートの隙間に入れ込みます。



- 19** シートベルト部分の生地を隙間に入れ込みます。



- 20** 12ページ1番で外した、チャイルドシート固定用フックのプラスチックカバーを外した時と逆の手順で元に戻します。



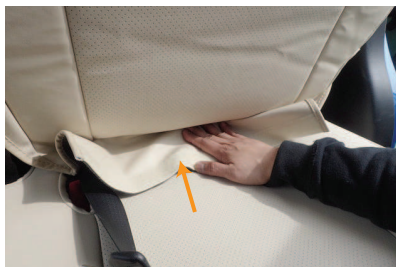
- 21** カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。
形状は異なりますが、運転席側も同様に取付けます。

Step 5

2列目助手席側背もたれの装着方法



- 1** シート肩口のレバーを外します。
レバーの内側のネジ（計2箇所）をドライ
バー等で外すことで、レバーが外れます。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みま
す。



- 2** 背面のファスナーを開け、シートベルトの
内側を通して、シート全体にカバーをかぶ
せます。



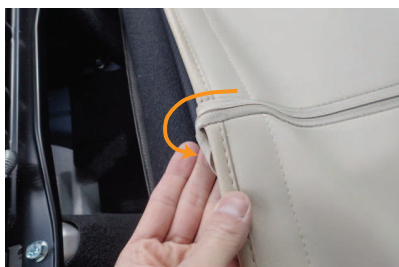
- 5** 入れ込んだ生地を背面側の隙間から引き出
します。



- 3** カバー背面側のファスナーを少しだけ閉じ
ておきます。



- 6** 3番で途中まで閉じたファスナーを生地を
内へ寄せながら最後まで閉じきります。



- 7** ファスナーの両端はカバー内側へ入れ込みます。



- 10** シートベルト付け根の、シートとプラスチックカバーの隙間にヘラ等を使用し生地を入れ込みます。
生地が入り込むのは図の赤線の範囲のみになります。



- 8** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



- 11** 生地を挟み込むように、16ページ1番で外したレバーを元に戻します。
戻す際は、レバー裏の前側のツメの位置を確認しながら戻すようにして下さい。



- 9** 16ページ5番で引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下部にあるマジックテープを固定します。



- 12** 背面のチャイルドシート固定用フックのプラスチックの隙間に、ヘラ等を使用し生地を入れ込みます。



- 13** カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。



- 14** 背面の完成図です。



- 15** 形状は異なりますが、運転席側も同様に取付けます。

Step 6

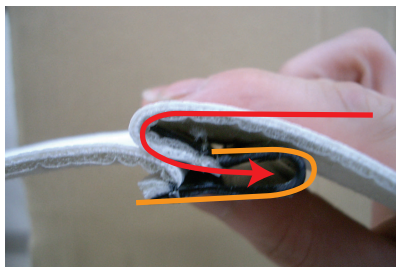
ヘッドレストの装着方法

※図は別車種の物を使用しています。

1 列目ヘッドレストの固定方法



- 1** ヘッドレストをシートに固定した状態で、カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端がフィットするようにかぶせます。



- 4** ブラフックの固定方法は、板状のプラスチックを包み込むように生地を折り返した状態で、フック状のプラスチックに入れ込みます。



- 2** カバーを左右交互に下し、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5** カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。

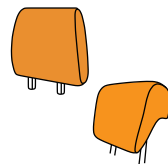


- 3** ヘッドレストをシートから外し、カバー前後に付いているブラフックをヘッドレスト裏で固定します。詳しい固定方法は4番を参照して下さい。

2 列目ヘッドレストの固定方法



- 6** ヘッドレストをシートに固定した状態で、前側から引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



7 カバーをシート全体にかぶせます。



10 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



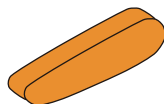
8 ヘッドレストをシートから外し、カバー裏のマジックテープを固定します。



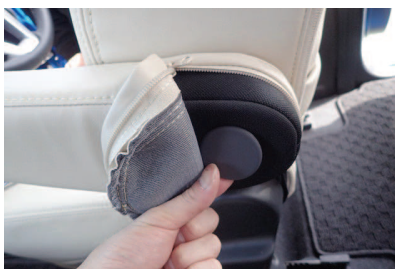
9 カバー裏のブラックを固定します。
固定方法は19ページ4番を参照して下さい。

Step 7

アームレストの装着方法



- 1** カバーを半分程度裏返した状態で、アームレストの先端まで生地が張るようにかぶせます。



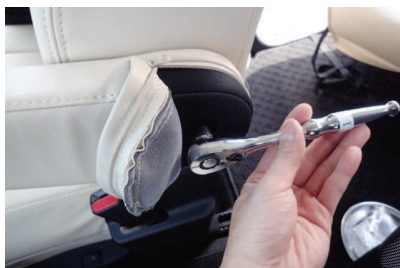
- 4** キャップを戻します。



- 2** アームレスト内側にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。



- 5** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉めます。



- 3** アームレストを外した時と逆の手順で元に戻します。



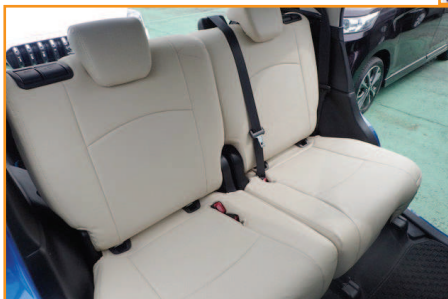
- 6** カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

完成図



◀ 1 列目

1 列目背面
(パーソナルテーブル装備車)
※図は対象品番：E S-6 0 7 0 ▶

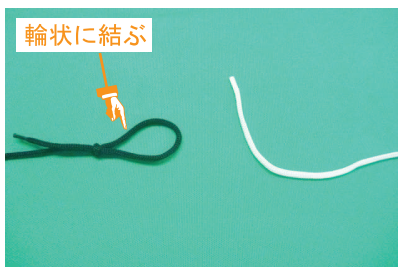


◀ 2 列目

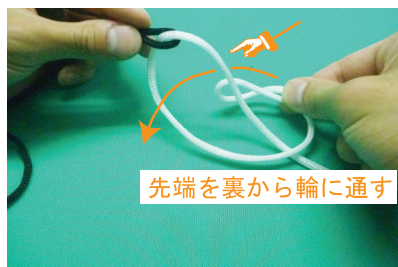
2 列目背面 ▶



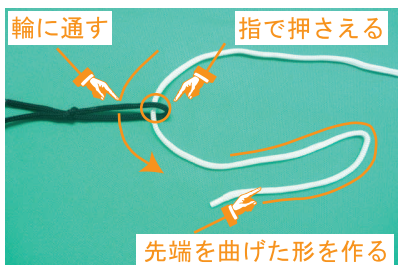
ひもの固定方法



- 1** ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



- 4** 輪に、重ねた先端を裏から通します。



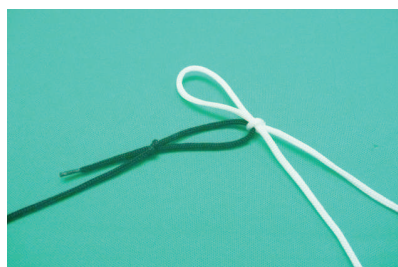
- 2** 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。
ひもが締まっている状態のまま、輪にひもが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したひもの先端を図のような形にします。



- 5** 通した後、カバーから出ている方のひもを引っ張ります。
逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしまうため注意して下さい。



- 3** 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6** 引っ張ると図のような形になり完成です。

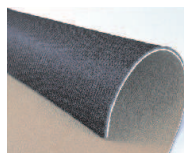


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816